

排水リフォームキット 給水リフォームキット 散水栓接続キット

排水リフォームキット BB-RKH
給水リフォームキット BB-RKK
散水栓接続キット(標準タイプ用) BB-SSK
散水栓接続キット(ミッキー&ミニタイプ用) BB-SSK(WD)

施工される前に

- 施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
- 排水リフォームキット、給水リフォームキット、散水栓接続キットの施工は、必ず水道局指定の工事店もしくはLIXIL修理受付センター(フリーダイヤル0120-1794-11)までご依頼ください。
- 施工段階での欠陥工事は、施工店様に対して賠償責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
- 排水リフォームキットは洗面化粧台が壁排水の場合はご利用できません。床排水の場合にのみご利用できます。
- 給水リフォームキットは洗面化粧台が床給水の場合はご利用できません。壁給水の場合にのみご利用できます。
- 散水栓接続キットは、当社洗面化粧台「きつとあ〜るシリーズ」にのみご利用できます。その他の化粧台にはご利用できません。

安全のために必ずお守りください

- ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

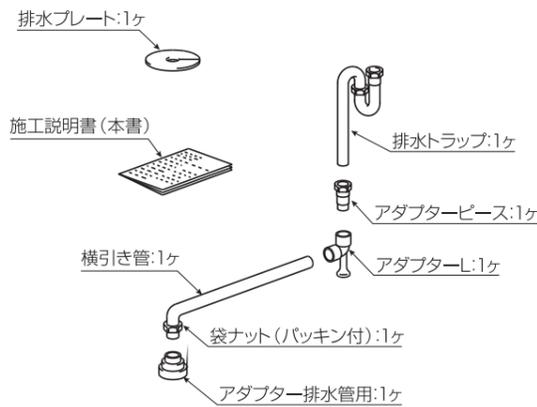
- 警告**……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意**……「取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ ……「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 🚫 ……「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- 🔪 ……「分解してはいけません!」
- 👉 ……「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 注意

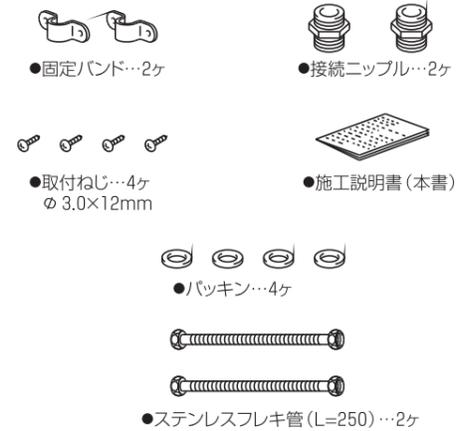
- 施工後は配管接続部及び給水栓から水漏れの無いことを確認してください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 排水リフォームキットでの管切断後は、端部のバリ・汚れを完全にとりのぞいて施工してください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 排水リフォームキットでの配管の接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込み接着してください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 排水リフォームキットでの配管の接着では、耐熱塩ビ用接着剤は使用しないでください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 給水リフォームキットでは、湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

■ 付属部品

● 排水リフォームキット



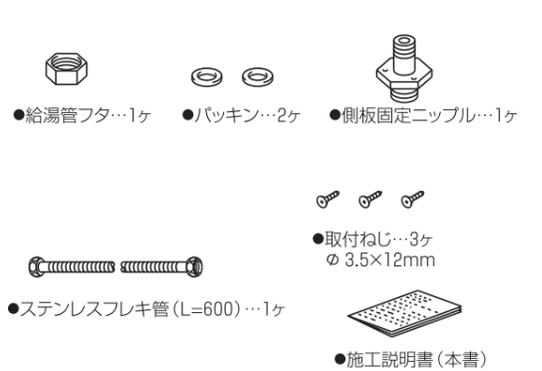
● 給水リフォームキット



● 散水栓接続キット(標準タイプ用)

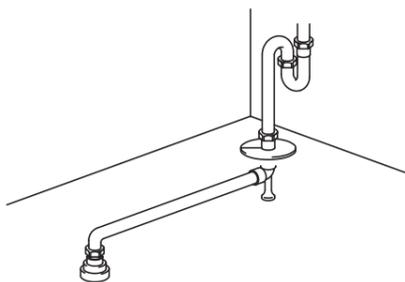


● 散水栓接続キット(ミッキー&ミニタイプ用)



■ 施工完了図

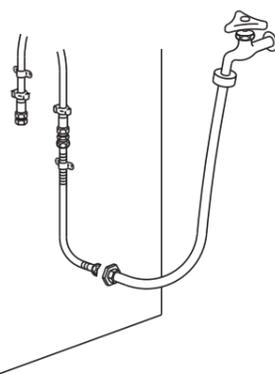
● 排水リフォームキット



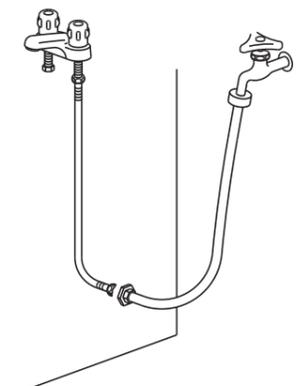
● 給水リフォームキット



● 散水栓接続キット(標準タイプ用)

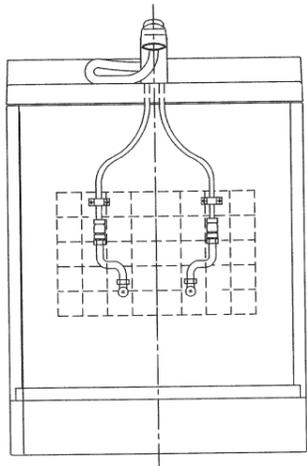


● 散水栓接続キット(ミッキー&ミニタイプ用)

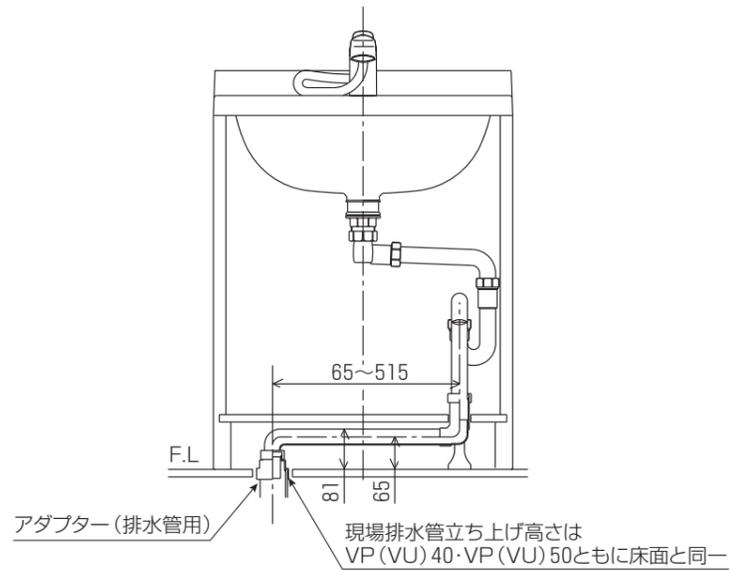


■寸法図

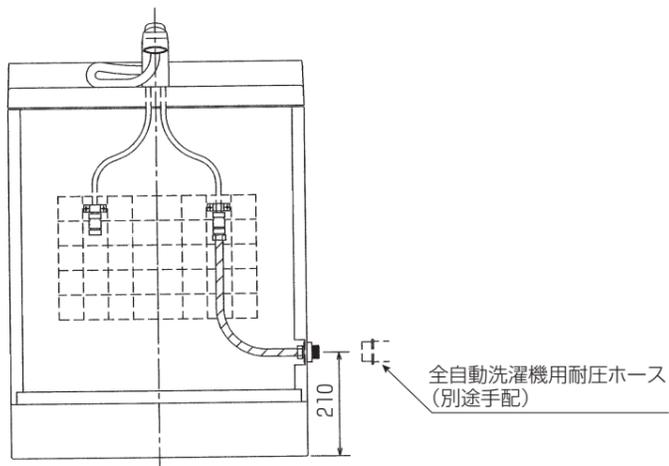
●給水リフォームキット



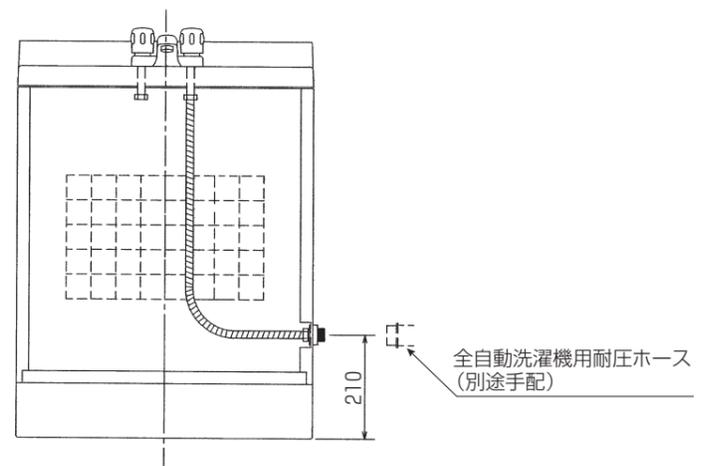
●排水リフォームキット



●散水栓接続キット(標準タイプ)



●散水栓接続キット(ミッキー&ミニタイプ)



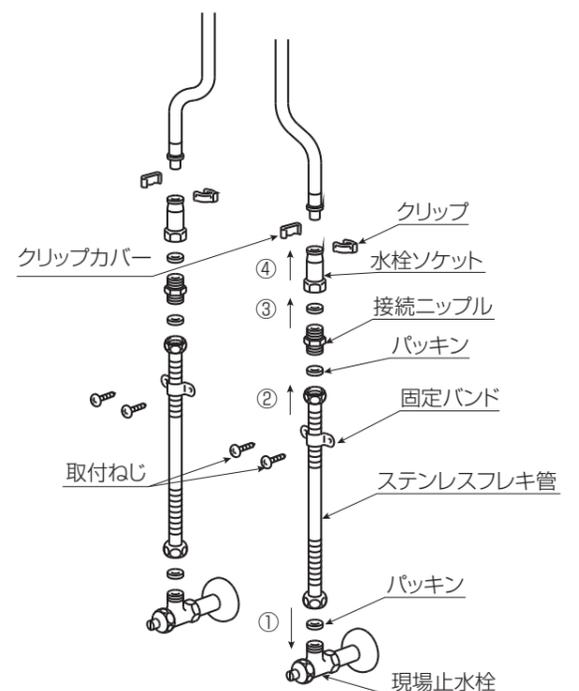
施工方法

■給水リフォームキット <リフォームなどの際の給水・給湯位置のずれを調整します。>

- ①既設の止水栓と、ステンレスフレキ管の間に付属のパッキンを入れ、工具で締めつけて固定します。
- ②接続ニップルとステンレスフレキ管との間にパッキンを入れ、工具で締めつけて固定します。
- ③接続ニップルの端と水栓金具のソケットを工具で締めつけて固定します。
- ④水栓金具の施工説明書に従い、水栓金具のフレキホースとソケットを接続します。
- ⑤ステンレスフレキ管の上端に固定バンドを当て、付属のねじで背板に固定します。
きつとあ〜る・リフラ以外の場合、背板に補強を入れてください。
- ⑥①〜④の作業を水側・湯側に行います。

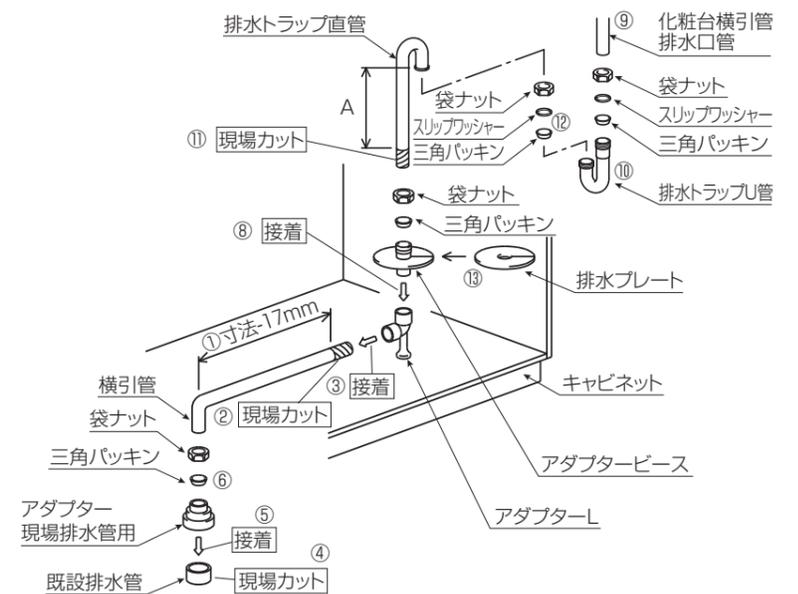
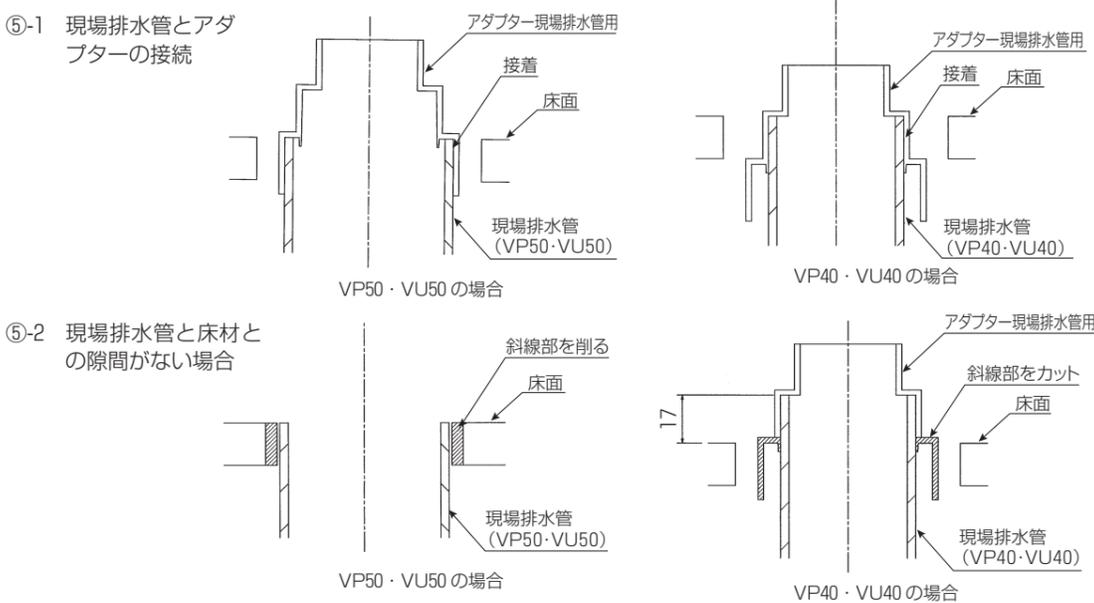
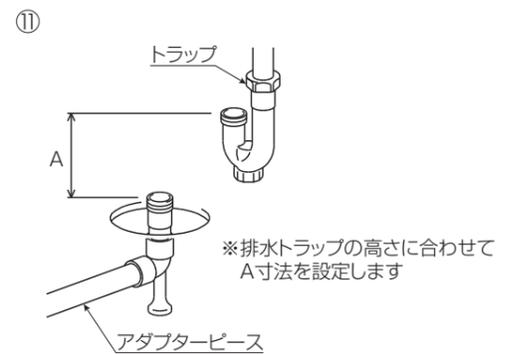
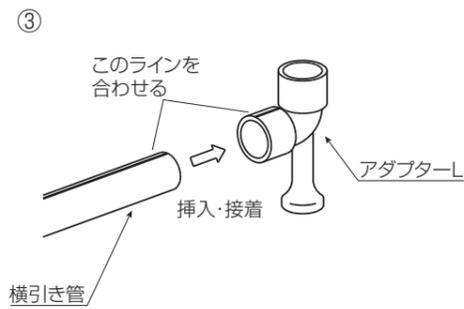
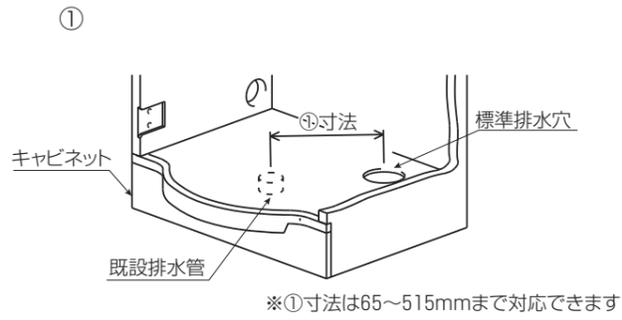
⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。



■排水リフォームキット <リフォームの際の排水位置のずれを床板下ですっきりと調整します。>

- ①キャビネットを仮置きして標準排水穴位置から既設排水管までの寸法を確認します。
- ②横引き管を管中心から〔①で確認した寸法-17mm〕の長さで切断します。
- ③横引き管をアダプターLに挿入・接着します。
※横引き管のラインとアダプターLのラインの位置が合うように接着してください。
- ④既設の現場排水管を底面と同一の高さで切断します。
- ⑤アダプター現場排水管用を現場排水管にはめ込んで接着します。
※アダプターは奥まで十分に押し込み接着してください。
※現場排水管がVP40・VU40・VP50・VU50の場合に対応できます。
現場排水管とアダプターの接続は⑤-1図の様になります。
※アダプターと現場排水管との間にすき間・ガタがある場合はコーキング剤を使用してシール接着してください。
※現場排水管の周囲の汚れ・湿気は十分に取り除いて接着してください。
※現場排水管（VP50・VU50）と床材とのクリアランスが無い場合、床材を3mm程削ってクリアランスを設けてください。（図⑤-2参照）また、現場排水管（VP40・VU40）と床材とのクリアランスが無い場合、図⑤-2の様に床面からの現場排水管高さを17mmとし、アダプター現場排水管用間をカットして接着してください。
- ⑥横引き管にパッキンを装着し、袋ナットでアダプター現場排水管用に締め付けて接続します。
※横引き管が逆勾配にならないように袋ナットの締め付け位置を調整してください。
- ⑦キャビネットを持ち上げて配管にあたらぬように据え付けます。
- ⑧アダプターピースをアダプターLに挿入し接着します。
- ⑨化粧台に横引管が付属の場合、化粧台の施工説明書に従って横引管を排水口に接続します。
- ⑩排水トラップU管を化粧台横引管あるいは排水口管に接続します。
※化粧台にジャバラ式排水トラップが付属している場合、本品に付属の直管式排水トラップと差替えて接続してください。
- ⑪排水トラップ直管を排水トラップU管、アダプターピースに合わせて切断します。
※差込部の最後まで入る長さで切断してください。
- ⑫排水トラップ直管に袋ナット、パッキンを装着し、排水トラップU管およびアダプターピースに締め付けて接続します。
- ⑬通水し、水漏れの無いことを確認後、排水プレートを取付けます。



⚠ 注意

- 施工後は配管接続部から水漏れの無いことを確認してください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 管切断後は端部のバリ・汚れを完全に除去して施工してください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 配管の接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込み接着してください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

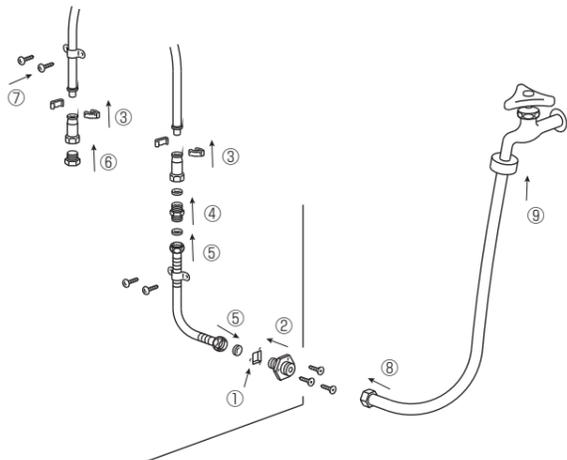


- 接着には耐熱塩ビ用接着剤は使用しないでください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 袋ナットは手でしっかりと締め付けてください。
※漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

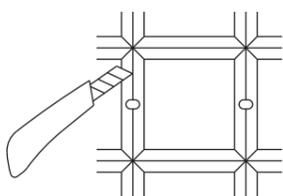


■散水栓散続キット (きつとあ〜るシリーズを屋外設置する場合、既設の散水栓や水栓と接続・給水するキットです)

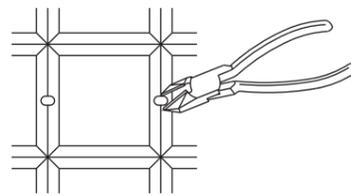
●標準タイプ用



- ①側板奥の肉薄部（正方形）を刃物でカットします。更に凸部（1ヶ所）をニッパーで切断します。
 ※肉薄部をカットし、凸部を数回ニッパーで切り込みを入れた後、四角部分をめくるようにして凸部をカットすると加工しやすくなります。

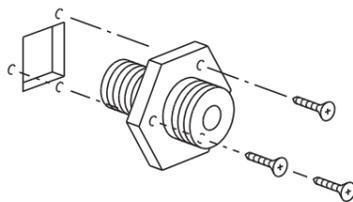


肉薄部を刃物でカット

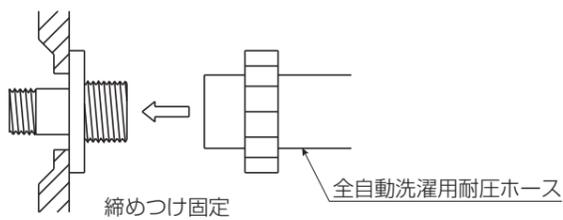


凸部はニッパーで切り込みを入れる

- ②①の開口に側板固定ニップルを付属の皿ねじを用いて固定します。



- ③水栓金具の施工説明書に従い水栓金具のフレキホースに水栓金具のソケットを取り付けます。
 ④水側のソケットに接続ニップルを工具で締めつけて固定します。
 ⑤側板固定ニップルと接続ニップルをステンレスフレキ管で接続します。ステンレスフレキ管との間には必ず付属のパッキンを入れ、工具で締めつけて固定してください。
 ⑥給湯管フタのネジ部にシールテープを巻き、湯側の水栓ソケットに工具で締めつけて固定します。
 ⑦ステンレスフレキ管の上端に固定バンドを当て付属のなべねじで背板に固定します。
 ⑧側板固定ニップル（外側）と市販の全自動洗濯機用耐圧ホース（別途手配）を接続します。

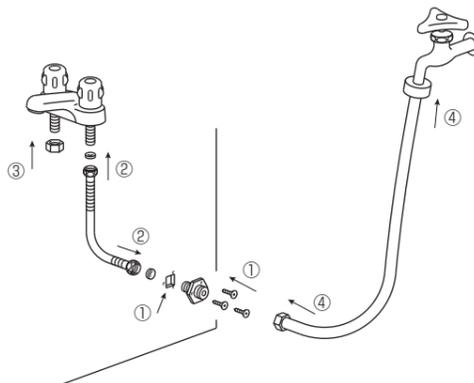


締めつけ固定

全自動洗濯機用耐圧ホース

- ⑨耐圧ホースを現場既設の散水栓や水栓と接続します。接続方法は、耐圧ホースの施工説明書に従い行ってください。

●ミッキー&ミニタイプ用



- ①標準タイプ用の①～②と同様に側板に側板固定ニップルを固定します。
 ②側板固定ニップルと水栓金具の給水管を、ステンレスフレキ管で接続します。ステンレスフレキ管には必ず付属のパッキンを入れ、工具で締めつけて固定してください。
 ③給湯管フタに付属のパッキンを入れ、水栓金具の給湯管に工具で締めつけて固定します。
 ④標準タイプ用の⑧～⑨と同様に、側板固定ニップルと現場既設の散水栓や水栓とを耐圧ホース（別途手配）を用いて接続します。